

熱田図書館「土曜の朝学 あつたを知るミニ講座」に参加して あつた人（びと）になろう！

あつたの【地形】を知る、「あつた台地を歩いてみよう！」講座

あつたの【たべもの】を知る、「朱い名古屋かまぼこのルーツ」講座 …など

熱田図書館では、熱田の歴史や地域にまつわる様々なテーマを取りあげて
「土曜の朝学 あつたを知るミニ講座」を開催しています。

週末土曜の午前に図書館へ出かけて、新しいことを「知る」体験。

ちょっと豊かな心持ちになって、いい気分が週末が過ごせそうですね。

令和3年度は、1～2カ月毎に7回開催し、計125名の方に参加いただきました。

どんな熱田のお話を知ることができるのか、この場を借りて、少しご紹介しようと思います。

【地形編】

土曜の朝学 あつたを知るミニ講座 【地形編】

あつた台地を 歩いてみよう

令和3年
5/29
【土】午前10:00～12:00



熱田図書館から西にある堀川に向かうには、なかなか坂道を上って、下り、たどり着きます。
やうしたまちなかに残る微かな凸凹を観察し、高低差からまちの成り立ちを読み解くフィールドワークを行っている。名古屋スリバチ学会の古橋さんと一緒に、あつた台地を歩きます。
地形・地名に着目して、まちの歴史を感じてみませんか？

日時 | 5月29日（土）午前10:00～12:00
講師 | 名古屋スリバチ学会
古橋 和佳 氏
対象 | 中学生以上 20名
申込 | 事前申込、先着順
5月15日（土）
午前10:00から電話のみ受付
集合 | 金山駅コンコース南口に集合し、熱田図書館へ向かいます
少雨決行、歩きやすい服装でご参加ください

名古屋スリバチ学会の古橋和佳さんと一緒に、あつた台地をたっぷり歩き堪能しました。
金山駅から熱田図書館まで、地図を片手に、坂を下りたり上ったりの高低差を体感しました。
この坂の下は海...？湾曲する道は海岸線...？など、かつての景色を想像し、地形を読み解きながら歩く醍醐味は、まち歩きならでは！
「こんなところに古墳が？」などなど、新しい発見も盛りだくさんの2時間でした。
古橋さんから、参加者に出されたお題は、「あつた台地の西側は〇〇、東はまるで〇〇〇〇のようです。」でした！みなさんも考えてみませんか。（答えは最後に）

【たべもの編】

土曜の朝学 あつたを知るミニ講座 【たべもの編】

朱い名古屋かまぼこの ルーツ

令和3年
6/26
【土】午前10:00～11:00



江戸時代、熱田の港では魚市が開かれ、多くの魚介が並び、人がにぎわう様子が『尾張名所図会』に描かれています。また、水産物を保存性の高い食品にするために、かまぼこやくわなどの水産加工業も盛んになりました。
熱田の伝統的食文化や、名古屋の朱色のかまぼこについて、あつた宮宿会の大矢晃敬さんにお話いただきます。

日時 | 6月26日（土）
午前10:00～11:00
講師 | あつた宮宿会・大矢晃敬商店
大矢 晃敬 氏
場所 | 熱田図書館 集会室
対象 | 中学生以上 20名
申込 | 事前申込、先着順
6月12日（土）
午前10:00から電話、または図書館窓口にて受付

あつた宮宿会の大矢晃敬さんに、熱田の歴史や、東海三県にしかない「朱いかまぼこ」のルーツについてお話いただきました。
11月15日が「かまぼこの日」になったのは、『類聚雑要抄』に1115年に開かれた平安貴族の祝宴の料理の絵があり、そのなかにかまぼこが描かれていたことに由来するそうですが、大矢さんはそれよりも前に、神功皇后が蒲の穂先に魚のすり身を塗り付けて焼いて食べたのが始まりだという言い伝えがあることも紹介してくださいました。
また、朱色のかまぼこのルーツについては諸説ある中で、熱田神宮の社殿が昔は朱色であったこと、織田信長が好んだ色であることから、朱色のかまぼこが信長に献上され、その色が現代にも伝わったのではないかと、熱田の歴史にちなんだ説をお話いただきました。

【まちづくり編】

土曜の朝学 あつたを知るミニ講座 【まちづくり編】

熱田神宮界隈の 魅力向上と回遊性

熱田神宮駅前地区の再開発を中心にして

令和3年
7/10
【土】午前10:00～11:00

駅東に商業ビルが建ち、新しくなる神宮前駅周辺。駅西では、熱田神宮にふさわしい門前町を目指してまちの将来像を描く取組みが始まっています。動き始めたあつたのまちづくりについてお話しいたします。



日時 | 7月10日(土) 午前10:00～11:00
講師 | 名古屋学院大学教授・あつた宮宿会 水野 晶夫 氏
対象 | 中学生以上 20名
申込 | 事前申込、先着順
6月25日(金) 午前10:00から
電話または図書館の窓口で受付



名古屋学院大学教授の水野晶夫さんをお迎えして、変わりつつある「あつたのまちづくり」についてお聞きしました。

熱田神宮駅前地区まちづくり協議会の事務局長として携わることとなった経緯や、関係者が顔を合わせ、共にまちづくり構想を考えることで取り組んだ「地域の紡ぎ直し」など、大変興味深いお話に参加者も熱心に耳を傾けていました。

年間700万人以上の参拝者が訪れる熱田神宮にふさわしい門前町を目指すこと、また、江戸時代に宮の渡し付近に存在した「東浜御殿」を活用し、街に回遊性を持たせてにぎわいを！という熱田の将来像に夢が膨らみました。

【のりもの編】

土曜の朝学 あつたを知るミニ講座 【のりもの編】

駅から視点で 熱田の歴史を振り返ってみよう

令和3年
10/9
【土】午前10:00～11:00

熱田区内の鉄道駅はいくつあるのかな？今まではいくつあったのかな？熱田駅や神宮前駅は、どうして今の場所にあるのかな？...などなど。駅に注目した様々なエピソードをお話しいたします。

日時 | 10月9日(土) 午前10:00～11:00
講師 | NPO法人名古屋レール・アーカイブス 前田 務 氏
場所 | 熱田図書館 集会所
対象 | 一般 20名
申込 | 事前申込、先着順
9月25日(土) 午前10:00から
電話または図書館の窓口で受付



NPO 法人名古屋レール・アーカイブスの前田務さんに、熱田の歴史を、鉄道や駅の開発の視点からお話しいたしました。

明治19年(1886年)に愛知県最初の鉄道として、熱田～武豊間が開業した当時の熱田駅は、旧東海道の近くにあり、鉄道の建設資材を運搬する役割を果たしていました。その後、明治29年(1896年)に運輸量の増加にともない、現在地に移転します。

この場所で、運河との接続によって、物流ルートを確認することとなり、熱田は名古屋市南部工業地帯の先駆けの地となりました。

その後の名古屋電気鉄道による路面電車(栄町～熱田駅前)の開通や、愛知電気鉄道による神宮前～常滑間の開通、戦後の名古屋市の地下鉄計画に至るまで、時間内には収まらないほどの充実した内容の講座となりました。

【歴史編】

土曜の朝学 あつたを知るミニ講座 【歴史編】

古墳から何がみつかの？ 発掘調査で分かる断夫山古墳

令和3年
10/30
【土】午前10:00～11:00

熱田区には遺跡や古墳、古い歴史を持つ神社やお寺がたくさんあります。その中でも、断夫山古墳は愛知県で一番大きな前方後円墳で、令和元年度から本格的な発掘調査がはじまりました。古墳はいつ、何のために造られたのかなど、古墳についての基礎知識や発掘調査で見えてきた古墳時代の熱田についてお話しいたします。

日時 | 10月30日(土) 午前10:00～11:00
講師 | 名古屋市教育委員会文化財保護室 学芸員 深谷 淳 氏
場所 | 熱田図書館 集会所
対象 | 小学4年生以上 20名
申込 | 事前申込、先着順
10月16日(土) 午前10:00から電話、または図書館窓口にて受付



熱田区にある断夫山古墳は、愛知県で一番大きな全長151mの前方後円墳です。令和元年度から本格的な発掘調査がはじまり、調査に携わった名古屋市教育委員会文化財保護室の学芸員・深谷主査に、古墳の種類や出土品、断夫山古墳の歴史、発掘調査の様子などをお話しいたしました。

断夫山古墳は6世紀前半に、今よりも内陸に入り込んでいた海に面して築かれ、海からのながめを意識していたのではないかと推測できるそうです。また、古い地籍図から古墳の周りの濠や堤の形を推測し、発掘調査や地中レーダー探査を行ったということもくわしく解説していただきました。

【文学編】

土曜の朝学 あつたを知るミニ講座 【文学編】

熱田を詠もう ～短歌でアプローチする熱田～

令和3年
11/13

【土】午前10:00～11:30

日時 | 11月13日(土)
午前10:00～11:30

講師 | 歌人 加藤 治郎 氏
熱田神宮献詠祭選者・未来短歌会選者

場所 | 熱田図書館 集会室
対象 | 中学生以上 20名
申込 | 事前申込、先着順
10月29日(金)
午前10:00から電話受付
★熱田をテーマにした短歌1首を
ご提出ください。締切:11月5日(金)



歌人の加藤治郎さんをお迎えして、【文学編】として熱田と短歌についての講座を行いました。
熱田神宮献詠祭選者でもある加藤さんに、草薙剣の神話をひもときながら、献詠歌を解説していただきました。
また、参加者には事前に熱田をテーマした短歌を提出していただき、講座内で1首ずつコメントをいただきました。
それぞれの熱田への思いのこもった歌に、新しい熱田の魅力を発見することができました。
「妹と神宮前の踏切を待つうちに背が伸びてしまった
岡田奈紀佐」
「静かな森に一陣の涼風が吹く かみさまはいる
新棚のい」

【伝説編】

土曜の朝学 あつたを知るミニ講座 【伝説編】

蓬莱の地・熱田の徐福伝説

令和4年
2/12

【土】午前10:00～11:00

日時 | 2月12日(土)
午前10:00～11:00

講師 | 愛知県立大学講師
達志保(つじ しほ)氏

場所 | 熱田図書館 集会室
対象 | 中学生以上 20名
申込 | 事前申込、先着順
1月29日(土)
午前10:00から電話にて受付



徐福(じょふく)とは、中国秦の時代に、始皇帝の命を受けて、不老不死の薬があるという蓬莱の地を求めて出航したといわれている人物です。『徐福論-いまを生きる伝説』の著者でもある達志保(つじ しほ)さんを講師にお迎えして、中国・韓国、そして日本各地に伝わる徐福についてお話しいただきました。
熱田の地は「蓬莱」とも呼ばれることから、徐福が渡ってきたという説があります。伝説を残していくのは、その土地の人の「思い」というお話も興味深くお聞きしました。
講座のなかでは、徐福に関する小説などもご紹介いただき、関連資料を展示しました。

【ゲーム編】

土曜の朝学 あつたを知るミニ講座 【ゲーム編】

カードゲームでかんがえよう ～私たちが熱田のまちの未来

令和4年
3/5

【土】午前10:00～11:30

日時 | 3月5日(土)
午前10:00～11:30

講師 | 名古屋大学スポーツ市民協成協成講師
場所 | 熱田図書館 集会室
対象 | 小学生～大学生 15名
申込 | 事前申込、先着順
2月19日(土)
午前10:00から電話にて受付
※お気楽にお楽しみください。



※残念ながら、コロナウイルス感染状況から中止としました。

アツタカアツタ市という架空のまちで、与えられたお金と時間を使ってゴールを目指すカードゲームをする予定でした。

まだまだ、熱田にまつわる話題は尽きません。

今後も、皆さんの知りたい気持ちにグッとせまるような、熱田のテーマを探して講座を開催したいと思っています。

熱田を知り、「あつた人(びと)」になろう！

そのためにも、是非、熱田図書館にお越しください😊

5/29 地形編・古橋さんからのお題の答え
「あつた台地の西側は『がけ』、東はまるで『はまべ』のようです」